

第 6 号

本小の教育「授業研修会」

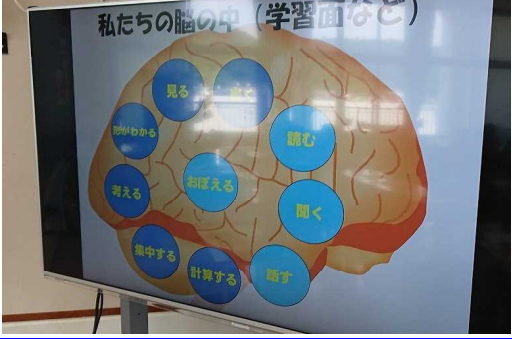
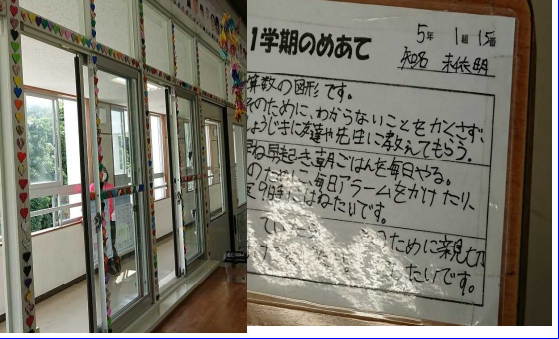
5年特設

◦インクルシブ教育『脳の引き出し』

今回の特設授業「脳の引き出し」は、5年1組（仲宗根誠子）で実施しました。高学年のクラスでの【授業目標】は、「①自分のことを知る。②友達のことを知る。③支え合うことの大切さを知る。」の3点です。高学年になると、わざと自己肯定感の低い子を抽出した。級友に問う。「●●さん、～が○だけど。そう？」「いや、1だよ」「2は、あるよ」の声がかかる。「●●」さんの嬉しそうな表情がいい。彼の自己肯定感も級友に支えられ多少は上がったと思う。授業で、又は学校生活の中で、高め合う必要性を改めて実感した。

■ 5年1組（特設）「河津 さゆり（仲宗根誠子）」先生 1校時目



【本時の流れ（学習過程）】 ■本時の「ねらい（目標）」を確認する 今日の授業の目標 ○自分のことを知る ○友だちのことを知る ○ささえあうことの大切さを知る ■だまし絵「馬の顔」＆「カエル」  ■ 1 枚の写真より  【黒柳徹子】→ 子：デビー婦人と間違う ●現在では、十数カ国を話せる、ユニセフ平和大使としても携わっている。幼小の頃は、「窓ぎわのトットちゃん」[ADHD] 【爆笑問題！太田光】 子：良く知ってる。 ●よく喋るし、語彙力、政治的識見も高い？と評判だが、数字に弱いらしい。 【トム・クルーズ】 映画「ミッション・インパッシブル」で子供達も納得した。俳優。トムは、文章を読んで理解するのが苦手。常にマネージャが読む台本を暗記して映画撮影に臨んでいたことは有名な事実である。 ■ 各分野で活躍中の人気者達にも、「得て」「不得手」が有る事を理解させる、ねらい。	【（学習規律）（支持的風土）】    	【教師の眼（教師の姿勢）】    
---	---	---

【感想】 「脳の引き出し」＝「ジョハリの窓」を連想させる授業内容でした。ジョハリの窓は、次回に。
○「中学年では、特定せず脳の引き出しを開けていったが、高学年では、意図的に指定して実施した。」
○「発達段階で、他者のことも理解し、受け容れて、肯定的に観ている。他者の評価で肯定感も上がる」
○「学習規律や、規範意識、支持的風土醸成、ロッカーの整理・整頓など【非認知能力】は出来ている」
○「全員の机、右上に『1学期のめあて』学習面・生活面・困ってる人へが記入され、常に確認出来る」
○「入口のドア、窓枠を『ハート』マークが埋め尽くしている。女子児童が得意気に、300あります。」
○「自己理解、他者理解、お互いの存在意義、有用感、連帯感、学級のチームが育ちつつ有るを感じた。」



校長より